



ニュースレター Vol.12

# 三千里



## ❖ 朝鮮半島に緑と平和を広げよう！ 北域緑化「1人1年10株運動」開始

6月28日、特定非営利活動法人 三千里鐵道は、年次総会を開催し、今年度の事業計画を決定した。事業計画の大きな柱は、朝鮮半島北域の緑化推進事業である。

韓国では昨年4月に、北域の緑化推進のための汎国民運動団体である『同胞の森』が結成された。今年5月には『韓半島青い森育成国民運動』の宣布式が開催され、『1人1年10株送り』運動を展開することを宣言した。総会では、海外同胞の立場から、朝鮮半島の平和を願うすべての人達の思いから、この運動に積極的に呼応して行くことが決議された。

さらに総会では、海外からの独自の参画形態を模索し、南北双方に働きかける必要性についても意見が出された。

総会2部では、昨年南北鐵道試運転映像を鑑賞した後、韓基徳事務局長が「北域緑化事業と海外同胞の可能性」について報告した。



## ❖ 新たな目標に向けてスタート

三千里鐵道 理事長 トサンテ 都相太

昨年5月17日に、京義線は南から北へ、東海線は北から南へと試運転が挙行されました。その感動的な様子は、韓国統一部・統一研究院の協力により入手、NPO法人三千里鐵道が翻訳し皆様に提供しました。

朝鮮半島の鐵道が連結され、NPO法人三千里鐵道の大きな目標の一つは達成されました。しかし、統一のための一里塚としての鐵道連結は、統一という終着駅へのスタートに過ぎません。

NPO法人三千里鐵道は、韓国の民間団体とともに北側の開城においての植樹祭に参加した実績を持っています。今年の6月15日、南北共同宣言8周年記念行事が北側の金剛山で実施された折、理事長である私にも招請がありました。残念ながら時間制約の中で参加を見送りましたが…。

NPO法人三千里鐵道は現在、緑化すべき候補地の選定を協議しています。紆余曲折はあるにしても、日本の友人たちと一緒に北側の大地に、緑の森を耕していこうと考えています。

今年度から、新たなNPO法人三千里鐵道の活動を展開します。皆様にはこれまで以上のご協力を、お願い申し上げます。

朝鮮半島を皆様とともに、平和と緑の大地にしましょう。



## ◆ 韓半島緑の森育成国民運動宣言文

森はすべての人々に瑞々しい生命力を吹き込んでくれる。5月の森はことに美しい。我々が今日享受しているこの緑の森林は、我々の過去30数年に及ぶ「森林育成運動」の結実である。

しかし韓半島ののこり半分の森は、日を追って荒廃している。すでに全山林面積の6分の1の森が消え、北は慢性的な水害と干ばつに苦しんでいる。さらに深刻な食糧難と燃料不足が追い打ちをかけている。

このような差し迫った問題解決も大切だが、より重要なことは急いで森を復元することである。森の復元なくして、この深刻な事態を根本的に解決するすべは無いからである。

北の森林復元は、我々にとっても見過ごすことのできない重要課題である。住む場所は分かれていても、生態系はつながっており互いに影響し合っているからである。中国での砂漠化による黄砂が、我々を脅かしているように。

森を復元するためには、一時的な支援では足りません。中長期計画に基づき民間と政府、そして国民ひとり一人が関心をもって参加してこそ実を結ぶことができます。

今日我々は「韓半島緑の森育成国民運動」を宣布し、「一人一年10株運動」を国民の皆様に提唱します。

荒れ果てた北の森を甦らすのに必要な苗木は、凡そ50億株。5千万の国民が参加すれば、1年に5億株の苗木を植えられます。我々が過去造林に成功した経験を生かし、国民運動として展開すれば30年かかる事業もより早められます。

我々はこの事業を、南北の同胞が共に繰り広げる方向を目指します。北の養苗場を改善し、北方地域の特性に合った苗木を生産し、北の同胞自らが植樹し管理するように進めます。

南と北がともに育む韓半島の森は、必ずや南北和解と協力の道標となるでしょう。そしてわが民族の前途に、平和と統一の光を灯すことでしょう。国民の皆様の積極的な参加と声援を、心より希望します。

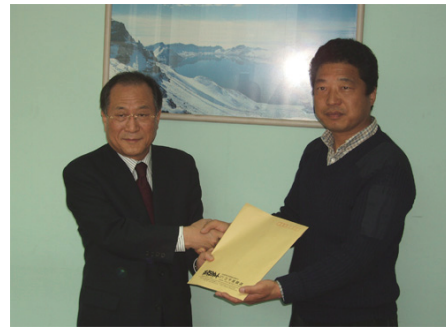
2008年5月6日

民族の森常任代表 丁世鉉

## ◆ 丁世鉉氏との関わり



2002年3月 三千里鐵道は丁世鉉統一部長官に非武装地帯の鐵道建設資金として680万円を伝達した。12月には、朝鮮民主主義人民共和国の内閣にも同趣旨で同額を伝達した。



2006年4月、三千里鐵道は、北域緑化運動支援金として、民和協に寄付金1000万ウォンを伝達した。



2006年10月、三千里鐵道は丁世鉉民和協代表共同議長の講演会を豊橋市で開催した。



❖ シリーズ 三千里と私

❖ その日の感動、今も！

朴泰秀



ニュースレター三千里の読者の皆さん、初めまして。私は愛知県豊橋市在住の朴泰秀（通称名は松田泰秀）と言います。

在日3世で生まれた時から朝鮮人でした。自分が日本人では無いと自覚したのは、小学生3年生の頃でした。友達と釣りに行く約束をして初めて友人が家に来てくれた時、丁度ハンメー（おばあちゃん）が居て、ヤスヤ、オディカノ（泰秀、何処に行くの）と日本人には分からない言葉で声を掛けてきたのです。私はとっさに聞こえない振りをして友達の手を取り急いで外に出ました。友達が今の人、誰と聞くので、掃除に来ている近所のおばあちゃんと答えてしまいましたが、心の中は複雑でした。学校では多数の生徒が時々、あいつは朝鮮人だと何人かの人を名指しで差別しているのを見聞きしていたので、自分もひょっとして虐めの対象になってしまうのかと、考え、とっさに嘘を付いたのです。

この事がトラウマになり、いつか人前で堂々と朝鮮人だと胸を張って名乗ってやろうと決意し、中学3年生の時にまず普段遊んでいた友人に告白しました。ところが友人は、実は俺も父親が朝鮮人だと言いました。何と隠れ朝鮮人がここにも居たのかと、驚いた記憶があります。暫くしてクラス会で発表はしましたが、それがどうしたという雰囲気でした。結局自分に力が有り評価されれば、差別されることはないのだなと思えるようになりました。

その後の人生において私は、自分自身の個性を皆さんに理解して貰い、仕事では関係するすべての人から良い評価を得るように努力して来ました。幸いにも事業も順調に伸びて現在日本政府には人並み以上の税金を納めている現状です。

その様な時、私は衝撃的な新聞記事を目にしました。2000年6月、朝鮮半島の北朝鮮側に韓国の金大中大統領が訪問するという歴史的な出来事が起こったのです。

私の心は大きく揺さぶられました。ようやく朝鮮半島にも春が来る兆しが見えてきたのだと確信し、微力ではあるが何か私に出来る事はないかと考えました。私が所属している団体に何か出来る事はないかと働きかけていたところ、あくる日の地元紙に感動的な記事を発見したのでした。それは、愛知県宝飯郡の小坂井町在住の都相太氏が、南北の鉄道を結ぶ為に必要なレールや枕木を、在日韓国朝鮮人や日本人が協力して寄付しようと三千里鉄道という会を立ち上げたというものでした。

其の記事を読み終えた瞬間、即座に事務局へ連絡を取り協力したい旨を伝えました。同時に私は、この様な素晴らしい発想をする人がこの地区に住んでいるのに、何故今まで知らなかったのかという思いが去来しました。

後で聞いた話しですが、都氏は既存の民族政治団体には所属してないという事が分かり納得しました。既存の団体は、トップの意向に逆らったり、自分の意見を持って行動する人達を排除する傾向がありますから…。

数日して都氏から会いたいとの連絡が直接ありました。私は胸をワクワクさせながら約束した場所で待っていました。すると、小柄で白髪のいかにも健康そうな紳士が現れました。都氏は、話し方や内容がとても自然で偉ぶるそぶりも無く、言葉の発し方もとても物静かで大人の容貌でした。

この人物ならば必ずや、人と人を結び付けて大きな夢を実現するであろうと思い、この事業に参加し、今日に至っています。あまり積極的に会合へは参加していませんが、皆さんとは何時も、目的も夢も一緒です。今後とも朝鮮半島の平和と統一のために共に歩んで行きましょう。（57歳、会社経営）

❖ 三千里鐵道への私の心

野村 光司



「三千里鉄道」の案内を受け私は、少額ながら日本人の中では恐らく最も早く応募した一人だろう。私はコリアンに親戚も親友もないけれどバネ仕掛け

## ❖ シリーズ「十字路」 在日朝鮮人作家を読む会

のように動いた。その心を語らせて頂こう。

我が憲法前文には「恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚する」とある。この「崇高な理想」とは世界に共通して「人を愛し、言葉に誠実に」で要約されよう。すべての人を愛し、発する言葉にウソがなく約束は守る。法律的には、基本的人権の尊重と、契約・法令の遵守である。その上で人が旅し、財貨を運び、話し合う基盤を提供し、理想を現実化するのが運輸・交通・通信の使命である。三千里「鐵道」は、南北コリアを貫いて、すべての人々が「行きかい交わり」、愛と富とを普く分かち合う交通の一つだが、鐵道は目に強く訴える列車と線路によって、人間交流の最も象徴的な基盤となり得る。

しかし同じ鐵道も用いる人の目的から、植民地化や戦争の手段ともなる。かつて日本が朝鮮に鐵道を敷設したのは、日本から軍隊、官僚、開拓民を送る大陸支配の重要な手段としての意味があった。その失敗が南北朝鮮分断の不幸を朝鮮民族に強いる一因ともなった。「三千里鐵道」は外部要因による不幸な南北分断を、民族自からが修復する、民族再生の紐帯の再建を意味する。日本には南北朝鮮が融和して繁栄するのを好まぬ人もあろうが私は、三千里鐵道で「朝鮮民族による、朝鮮民族のための、朝鮮の鐵道」として生まれ変わることを望み祝福する。それが我が父祖の過ちをすすぎ、我が道義の回復たるを望む日本人としての愛国心からである。

三千里鐵道は、朝鮮と日本のためだけではない。かつての朝鮮は、周囲の大国の圧迫と戦争の狭間で地獄の苦しみを受けたが三千里鐵道は、朝鮮民族が東アジア共同体全域に平和と繁栄の架け橋となる。韓国を中心に、京義線と東海線とが日本、北朝鮮、中国、モンゴル、ロシアの友好・交易の回路となろう。かつて琉球王国は「万国の津梁たらん」と、アジア海上交流の中心であったが、徳川・薩摩の「琉球征服」や明治の「琉球処分」でヤマトの辺境に甘んじ、今や「不安定の弧」の中心とされて日米の軍事基地である。共にヤマトに苦しんだ朝鮮民族とウチナンチュウが、自主的に片や陸の「三千里鐵道」、片や海の「万国津梁」で、アジア全体の平和と繁栄の中心になってもらいたいと思っている。

(東京在住 行政評論家・2008年5月30日)

08年3月23日の午後、名古屋YWCAのビッグスペースに60名ほどの人が集った。在日文学あるいは在日コリアンと日本人の協働を志す人々だ。ささやかな集いではあったが、蓄積された運動の重みを感じさせた。「在日朝鮮人作家を読む会30周年記念マダン」である。

第1部ではフロアーから10人ほどが相次いで発言。「若い頃は朝鮮人を隠して生活してきた。いつもほんものの自分ではないような気があった。子どもが生まれて、この子にはそんな生き方をさせたくないと思ったときに、この会と出会った」(50代男性)、「在日として自分探しをしていた20代。会に参加して小説を書き始めた。今では私の家」(50代女性)、「アボヂは朝鮮籍、オモニは韓国籍、三世の自分には共同体の一員としての居場所がなかった。だから文学でそれを作らなければならなかった」(30代男性)。

第2部では在日と日本人が協働するグループ「ノリパン」による韓国舞踊の群舞と四物(サムル)ノリのコラボレーションを愉しんだ。まじめな議論と遊び心をピピンパプするのが、この会の伝統的作風。



在日朝鮮人作家を読む会は1977年12月、作家磯貝治良の呼びかけで発足。始まりは日本人ばかり。第4回例会に在日一世の女性が参加。1年ほどのちには在日(朝鮮籍・韓国籍・日本籍取得者)と日本人の割合が半々に。ふだん着の論争、交流が永續きの秘訣のようだ。会が“通過儀礼”の場になって別の活動に踏み出していくメンバーも多い。

08年7月現在、月例会は356回を重ね、読んだ本は約330冊。参加者は延べ4,500名を超す。例会は読書会形式を主にテキストと報告者を決めるが、時間の大半はフリートーク。例会のほかに記念のマダンも随時、開催。30年間にわたって在日文学と在日社会の変容を見つめてきた。

連絡先 / 052-502-6599 (磯貝方)



❖ シリーズ サラム・人 三千里鐵道のオモニ

ここに一枚の写真がある。正月か盆に祭祀(チェサ)を終えたあと撮った、ある在日同胞家庭の記念写真である。ハラボジ、アボジ、ミョヌリ、そして孫や乳飲み子など数十名が、山のように盛り上がって、一枚の写真に収まっている。愛知県豊橋市近郊の小坂井町一帯に住む、都氏一門の写真である。

全光子さんは1945年3月、豊田市に生まれ育った在日二世。41年前に都家に嫁いだ。親が決めてくれた平凡な結婚ではあったが、すでに5人の子供と9人の孫のいるオモニ、ハルモニになった。

地域の民団婦人部の役員もしている全さんではあるが、最初取材の申し込みを頑なに拒んだ。周辺からも逃げられると脅された。なんとか取材にこぎつけたが、取材に臨んだ全さんの第一声が「恥ずかしい」。他にいくらでもいるのに、なぜ私なんか、とはにかむ。



シジップサリ(婚家暮らし)については多くを語ろうとしない全さんではあったが、一番うれしいことは、との問いには饒舌になった。

全さんが今一番うれしいことは、夫や子供たちが自分の作った料理を美味しく食べている姿を見ること、と淀みない。そして、みな健康でいてくれれば、それが一番うれしいことだと笑う。

帰国事業が盛んであった頃、朝鮮高校に3年間学んだ全さんは、ハングルもわりと話せる。余談ではあるが全さんが、民族学校に通ったことのない夫と、ときおりハングルで話すことがある。文法を無視した一世のハングル、それも方言丸出しのハングルを、夫はうまく使いこなす。それに全さんは、やはりハングル方言で応える様は、まさに抱腹絶倒ものであ

る。その会話の向こうに、全さんのシジップサリが見えてくる。

8年前、三千里鐵道を興した夫(都相太氏)については、良いことをしているので邪魔にならないように、迷惑をかけないように、気をつけているという。

夫はいろいろな方を自宅に呼ぶ。その都度、全さんはお客さんが満足されるように、気を配りもてなす。一人のときもあれば、十数人、いやそれ以上の場合もある。毎年行われている三千里鐵道の新年会も、会社の忘年会もほとんど自宅だ。

多い場合は近くに住む息子の嫁の応援を頼む。孫までも手伝う。宴たけなわの大広間と台所を忙しく行き来しながら料理を運び、一段落すると全さんは広間の隅で孫を膝にのせにこやかに場を見渡す。ときおり会話に飛び入りする時もある。

三千里鐵道のメンバーには高齢者もいる。しかし全さんをアジュモニと親しげに呼ぶ。若者はサモニム(師母様)と慕う。メンバーは、全さんに接することで満腹感(?)を感じ、安らぎと勇気を得て、また前に進むのである。まさに三千里鐵道のオモニである。いつも大変ですね、と話を向けると、夫の連れてこられる方はみな志のある方たちなので、却って勉強になります、と謙遜される。

趣味は生け花。花を見て怒る人はいない。だから家族や訪問客がくつろげるよう室内の所どころ花が活けてある。庭にも手入れの行き届いた草花が咲いている。三千里運動を陰で支える全さんは、ひまわりのように明るく、そしてトラジのように慎ましかだ。



錆びた鉄釜、庭に水飴と豚餌づくりの名残りが…今はそこに草花が育っている

## ❖ NPO 法人三千里鐵道沿革

「NPO 法人三千里鐵道」沿革 非武装地帯鐵道建設から北域緑化事業へ

2000年	6月	南北共同宣言
	9月	三千里鐵道発足 金石範先生講演
2001年	3月	募金開始
	5月	NPO法人格取得
	6月	南北共同宣言1周年祝祭「鉄馬は走りたい」開催
		募金額：九百万円突破！
10月	三千里鐵道解散、NPO法人三千里鐵道継承	
2002年	3月	韓国政府に鐵道建設資金（六百八十万円）伝達
		JSA 休戦ラインツアー実施（24名参加）
	4	都羅山駅まで開通、試運転
	6	南北共同宣言2周年記念集会開催
	12	共和国政府に鐵道建設資金（六百八十万円）伝達
2003年	1月	非武装地帯南北管理区域内地雷除去、完了
	3月	募金伝達訪朝報告集会、開催
	6月	南北共同宣言3周年記念集会開催
	12月	南北両政府に、ムンサン・開城間踏破計画要請
募金者累計二千人突破、募金額二千万円突破！		
2004年	6月	南北共同宣言4周年記念ウリ民族大会に招聘 都相太理事長以下3名出席
		南北共同宣言4周年記念講演会開催 韓国国会議員2名、スピーチ
2005年	6月	南北共同宣言5周年記念愛知集会開催 韓相烈韓国進歩連帯共同代表、講演
		6.15共同宣言実践のための南北海外共同準備委員会 都理事長が副議長に
	8月	自主・平和・統一のための8.15民族大祝典に都理事長以下3名参加
2006年	4月	苗木支援・南北共同植樹事業／1000万ウォン寄付
	6月	南北共同宣言6周年 「東北アジアの平和実現への道筋」姜尚中記念講演
		民族統一大祝典（光州）に韓事務局長参加 その後、東海北部線視察
	8月	呉炳学画伯ソウル個展開催
	10月	丁世鉉元統一部長官、講演会開催
12月	民族和解協力汎国民協議会（民和協）海外同胞招請会議 韓事務局長参加	
2007年	6月	南北共同宣言7周年 統一研究院・李鳳朝院長講演
	8月	在日同胞協議会代表者会議開催
2008年	3月	在日コリア協議会結成 都理事長、副会長就任
	6月	三千里鐵道定期総会開催 / 北域緑化支援事業『1人1年10株運動』を決定

❖ シリーズ ハングル豆知識 ハナの想い

ハングルの数字読みは二通りある。漢数字とハングル固有のもの。일 (イル), 이 (イ), 삼 (サム) は漢数字、하나 (ハナ), 둘 (トゥル), 셋 (セツ) はハングルの固有語である。それぞれ1、2、3である。

1は数字のはじまり。日本語の「端っから」は「ハナっから」と読む。この日本語、ハングルから派生したとの説がある。日本語の起源を辿れば、この話まんざら嘘とも言い切れない。

また、後ろに「個、名」がくると、ハンになる。한 (ハン) 개 (ゲ), 한 (ハン) 명 (ミョン) と。ハンとはハングルでは「約」という意味にも使われる (한 (ハン) 열 (ヨル) 명 (ミョン)-約10名)。ハンはまだ韓国人の情念を表わす「恨」にも通ずる。パッと散る「潔さ」に美意識を感じる大和民族とは違い、ムグンファ (槿) のように苦しみ (風雪) や想い・願いを持ち続け、待ち続ける「ハン」を、韓民族は好む。そこからハンは、「永い」、「大きい」を連想させることもある。

さて、タイトルの「ハナの想い」は、花のこと? 数字のハナ? 答えは両方正解!

「桃色吐息」の康珍化が、ワンコリアフェスティバルの主題歌として作詞した歌のタイトルである。歌手ジュディー・パクさんは ♪ 小さな花が風にはこぼれ 見知らぬ空の下 枝をひろげる と始まり、♪ 一つのを一つのままに 二つのはよりそうように ハナ ハナ ハナを と歌い上げる。

分断されてはいるが、朝鮮半島は一つだ、そして苦難をのりこえ互いに寄り添いながら希望の花を咲かせよう、と。因みに、今年のワンコリアフェスティバルの標語は「HANA ひらく! 東アジアの未来」。

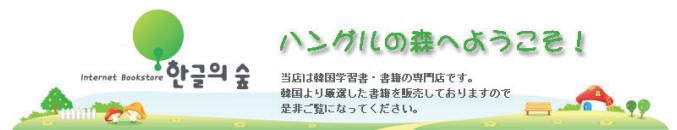
ワンコリアフェスティバルからの依頼を快く引き受けた康珍化さんは、ジョンレノンのイマジンを思いつつ作詞したという。なぜかハナは、「愛」をも連想させる。

❖ 広告

ダルマ商事  
〒441-8019  
豊橋市花田町斎藤80-1  
TEL 0532-32-0850

株式会社 大誠  
〒441-8083  
豊橋市東脇3丁目5-2  
TEL 0532-32-3295  
FAX 0532-33-0148

カルビ亭  
〒441-8044  
豊橋市南小池町3番地  
TEL 0532-47-8566



三千里鐵道事務局長の韓基徳さんが、韓国語教材書籍専門インターネット書店『ハングルの森』を開店しました。

韓国語教材のほかにも、韓国語やハングルに関連した文具や日用雑貨、ハングルをデザインに取り入れたネクタイなども販売しています。一見の価値ありですよ。 <http://www.eac-hg.jp/>  
(『ハングルの森』で検索してみてくださいね。)

❖ 編集後記

北京オリンピックまでカウントダウン。暑くて暑い夏がはじまりますね! このチャンスを生かして? 世界にどんな国があるのか、子供と一緒に覚えたいと思っています。^^;

これからますます暑くなります。体調不良にならないように皆さん気をつけてくださいませ!

NPO 法人 三千里鐵道

〒441-0109 愛知県豊橋市下五井町青木 31

☎ 0532-53-6999 <http://www.sanzenri.gr.jp/>